

第2次市民参画協働推進計画 中間まとめ〔H27-H29〕

基本目標1 <そだつ> 市民参画・協働の意欲を高め市民の力を豊かにします

施策目標(1) 情報を手に入れやすく、わかりやすく

取組項目(ア) 地域についての具体的な情報や行われている活動などの情報を獲得し、それを発信することを支援します。

具 体 例	・自治会情報(例・自治会だより)の充実・強化への支援 ・市民による地域マップ等の作成への支援				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
男女共同参画推進課	◆男女共同参画センター登録グループ等の広報活動を支援	○男女共同参画センターに配架, 掲示	◎	◎	◎
地域福祉課	◆地域支援事業	○「いつでも誰でも情報発信できる」を合言葉に, 地域で暮らすための役立つ情報をやり取りできる, 住民同士の情報発信を目指したプロジェクトで, 住民同士の情報発信の促進に取り組むため, Facebookマニュアルの作成を進めた。			◎
高齢介護課	◆高齢者生活支援センター事業	○各支援センターが発行する便りを周知	◎	◎	◎
健康課	◆広報・ホームページ・まちナビの活用 ◆保健センターだよりや事業に関するチラシ・ポスター作成	○保健センターだより全戸配布 ○事業に関するポスター掲示 ○広報チャンネルの活用			◎
生涯学習課	◆コミスク活動情報の発信支援 ◆社会教育関係登録団体の活動情報の発信	○各コミスクの紹介や登録クラブ一覧, 社会教育関係登録団体の一覧等情報を市ホームページで発信した。	◎	◎	◎
青少年愛護センター	◆学校区, 地域等の愛護安全マップを作成する	○各学校の愛護委員とPTA役員が協力して, 校区を実際に見て周り, 危険な箇所等を地図上に明示した「安全マップ」を作成し, 学校に掲示し併せて生徒に配布	◎	◎	◎

取組項目(イ) 市民参画・協働に関する多様な情報を、だれもが容易に入手できるよう努めます。

具 体 例	・情報媒体の多様化(広報紙, チラシ, 掲示板, ネットなど) ・子どもをはじめとして, だれにとっても親しみやすく理解しやすい編集 など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
政策推進課	◆パブリックコメントの閲覧場所及び広報の多様化	○パブリックコメントについて, 広報掲示板でのポスター掲示やHP等各媒体で情報提供した。また, 出先機関での閲覧箇所を増やした。	◎	◎	
広報国際交流課	◆「広報あしや」 ◆ホームページ ◆あしやトライあぐる放送 ◆データ放送 ◆マチイロ(H28～)	○「広報あしや」の新聞折り込み及び公共施設への配架 ○平成27年2月より全面リニューアルし, より見やすくした。 ○J:comによる市の広報番組を放送(月2回更新) H29年4月より字幕を入れ, インターネットでも配信 ○SNSを活用し, イベント情報などを発信(H29年度) ○サンテレビのデータ放送を活用 ○アプリによる広報紙の配信(H28～)	◎	◎	◎
文書法制課	◆行政情報コーナーの設置	○行政資料を配架し, 積極的に情報を発信する。	◎	◎	◎
人権推進課	◆「第3次芦屋市人権教育・人権啓発に関する総合推進指針」の策定の周知	○冊子と概要版パンフレットの作成, 配布	◎		

男女共同 参画推進課	◆多様な媒体による情報 伝達方法 (ア)チラシの配架 (イ)ポスターの掲示 (ウ)センター通信ウィザ スの発行 (エ)市ホームページによ る情報発信	(ア)チラシを男女共同参画センター他、市内の 公共施設においている (イ)ポスターを男女共同参画センター掲示板等 に掲示している (ウ)センター通信ウィザスを発行し、市内公共 施設に置くとともに、関係機関にも郵送 (エ)本市ホームページにて情報を掲載 いずれの媒体においても、平易な表現や挿絵の 有効利用を心がけ、親しみやすい内容となるよ う編集を行っている。	◎	◎	◎
収集事業課	◆ごみステーションにお けるカラス被害対策の再 周知	○地域での継続的な取り組みを推進するため、 平成27年度に全戸配布したハンドブックを集会 所へ配架した。また、市民課窓口番号案内シス テムを活用した周知を行った。			◎
高齢介護課	◆高齢者生活支援セン ター事業 ◆高齢介護課窓口業務	○各支援センターが情報を提供 ○窓口で情報を提供	◎	◎	◎
公園緑地課	◆イベント情報の公開	○オープンガーデンや総合公園でのイベントな どの情報を広報紙、掲示板等を活用して公開し た。	◎	◎	◎
防災安全課	◆広報の運営	○安全・安心ガイドブック（外国語版） ○安全・安心ガイドブック翻訳料 ※H28年度以降、建設総務課へ	◎		
建築指導課	◆耐震改修促進事業	○チラシを課カウンター周りに設置。	◎	◎	◎
都市整備課	◆JR芦屋駅南地区まち づくり事業に関すること	○まちづくりニュースのHPへの掲載	◎		
青少年愛護 センター	◆青少年健全育成を目的 に愛護活動等の資料配布 を行う。	○「青少年育成愛護活動」、「愛護班通信」、 「芦屋の愛護活動」、「愛のまなざし」等の資 料を配布した。	◎	◎	◎
図書館	◆図書館運営事業	①図書館広報紙「みんなの本だな」の発行 ②チラシの発行・配布 ③館内掲示 ④図書館ホームページによる情報発信	◎	◎	◎
取組項目 (ウ) 多様な情報を多様な媒体で提供するとともに、これらをまとめた市民参画・協働に関する情報の窓口を充実します。					
具 体 例	・あしや市民活動センターの情報発信機能充実 ・本市ホームページの充実 など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
政策推進課	◆パブリックコメントの 共同募集 (H29年度は市民参画課で とりまとめ)	○パブリックコメントの実施課が共同でポス ターやHP等各媒体を使い、パブリックコメン トの募集を行った。	◎	◎	◎
情報政策課	◆オープンデータサイト の開設	○避難所や赤ちゃんの駅、津波避難ビル、公園 の一覧などのデータを市ホームページ上で公 開。(H28.4開設)	◎	◎	◎
文書法制課	◆法制事務	○芦屋市例規・要綱、行政手続基準等のホーム ページでの公表 ○例規集・要綱集単行本の図書館等への配架	◎	◎	◎
人 事 課	◆職員給与等の公表	○職員給与、特別職の給料、議員の報酬等の情 報を広報あしや及び市ホームページで公表す る。	◎	◎	◎
財 政 課	◆予算管理事務	○財務情報の提供 ○予算・決算等、財務情報をホームページ上で 公開	◎	◎	◎
男女共同 参画推進課	◆市ホームページにあ る、「男女共同参画」の ページを活用した情報発 信	○「男女共同参画」のページを活用して、男女 共同参画の情報を発信	◎	◎	◎

地域経済振興課	<ul style="list-style-type: none"> ◆消費生活情報や消費行政関連イベント情報のサイト芦屋人への提供と掲載協力 [H27年度, H28年度] ◆消費生活情報の提供 [H29年度] 	<ul style="list-style-type: none"> ○サイト芦屋人へ消費生活トラブルや市民向けイベントの情報を提供し、市民への情報提供について相互協力を行った。 [H27年度, H28年度] ○SNSを活用し、緊急性の高い消費生活トラブルやセミナーの情報を提供 [H29年度] 	○	○	○
上宮川文化センター	<ul style="list-style-type: none"> ◆「文化センターだより」の発行 ◆「児童センターだより」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ○「文化センターだより」の発行 月1回 ○「児童センターだより」の発行 四半期毎 		○	○
収集事業課	◆ごみ収集カレンダー	<ul style="list-style-type: none"> ○全戸配布 ○町を基本単位とした13通りのパターンごとに印刷用紙の色を変えて(6色)製作。 ○平成30年度版から、2パターンと印刷用紙1色追加。また、ごみ出しルールや問合せ先等の文言を充実。 ○ホームページでも、町ごとにカレンダーを確認できる。 	○	○	○
地域福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ◆第2次芦屋市地域福祉計画を推進する地域福祉アクションプログラム推進協議会が市民と市の協働によるプロジェクトを支援する。 ①「市民が創る情報紙プロジェクト」 ②「キラッとプロジェクト」 [H28年度] 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民と行政が協働で情報誌を作成 ①あしやわがまち通信の発行 ②いのちまもるあしや(減災リーフレット) 1万2千部 [H28年度] 	○	○	○
障害福祉課	◆広報あしや特集号の発行	○障がいに対する市民や地域の理解を促進するため広報特集号を発行する。(12月第1週)	○	○	○
高齢介護課	◆生きがい・社会参加等在宅支援事業	○広報臨時号(高齢者特集号)の発行 ○本市ホームページの充実	○	○	○
健康課	<ul style="list-style-type: none"> ◆広報・ホームページ・まちナビの活用 ◆保健センターだよりや事業に関するチラシ・ポスター作成 	○保健センターだよりの全戸配布	○	○	○
道路課	◆道路事業	○管理する道路情報の発信	○	○	
公園緑地課	◆公園概要・事業の公表	○市が管理している公園の情報や大規模な事業の概要をホームページで公表した。	○	○	○
防災安全課	◆防災総合訓練及び地域の防災・減災事業	○あしや防災ネットの普及啓発を図り、携帯電話やスマートフォン等へのメールを活用した「緊急情報」等の情報発信を行う。	○	○	○
水道管理課	◆水の週間での芦屋の水のPR活動	○ボトルウォーター「芦屋の水」の配布、各種水の飲み比べ			○
青少年愛護センター	◆青少年愛護センターホームページの充実	○一般市民に解りやすい記載をし青少年愛護センターホームページの充実を図った。	○	○	○
図書館	◆図書館運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ①蔵書検索、予約、利用状況確認等インターネットによる図書館利用の促進 ②新着資料等の紹介 ③行事案内 	○	○	○
<p>評価コメント</p> <p>基本目標：1 施策目標：(1) 取組項目：(ア) - (ウ)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●各課の関係団体等の情報発信支援は定着しているが、地域の情報に関しては発信すべき情報の精査と、発信媒体の変化等も踏まえ情報収集や発信支援のあり方について検討する必要がある。 			

施策目標（２）学ぶ機会をゆたかに

取組項目（ア） さまざまな場面において、市民の主体的な学びを支援します。

具 体 例	・市民によるまちづくり教材（例：防災かるたなど）の開発支援 ・専門的な知識・技能を有する市民の発掘と、教室や講座の場などでの講師としての起用 など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
男 女 共 同 参 画 推 進 課	◆セミナー室や団体交流スペースの提供	○市民による自主勉強会や教室、セミナー等で利用可能なスペースの提供	◎	◎	◎
市 民 課	◆戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等関連事業	○出前講座を活用したマイナンバー制度説明会		◎	◎
高 齢 介 護 課	◆生きがい・社会参加等在宅支援事業	○Y O 倶楽部の活動を支援 ○高齢者生きがい活動支援通所事業を運営し、さまざまな教室を実施	◎	◎	◎
防 災 安 全 課	◆防災総合訓練及び地域の防災・減災事業	○地域における防災啓発のため、防災に関する研修会の開催や出前講座などを実施する。		◎	◎
水 道 管 理 課	◆出前講座	○芦屋市の水道について蛇口から水が出るまでについてや市販の水との飲み比べ等楽しく学べる内容での構成・実施			◎
生 涯 学 習 課	◆生涯学習推進事業	○毎年度末に出前講座メニューの見直しを行った。 ○社会教育関係登録団体を対象とした研修会の実施（H27年度、H28年度） ○社会教育関係登録団体を対象とした説明会を実施し、活動支援を行った。（H29年度） ○社会教育活動を通じて学んだことを市民が講師や指導者となって講座を行う、あしや学びあいセミナー（市民版出前講座）を実施した。（H29年度）	◎	◎	◎
ス ポ ー ツ 推 進 課	◆スポーツリーダー等研修会	○スポーツリーダーバンクの設置 ○栄養学セミナーの開催（H27年度） ○市民向けラジオ体操講習会の開催（H28年度） ○スポーツリーダー認定講習会の開催 ○救急救命講習の開催等	◎	◎	◎
青 少 年 愛 護 セ ン タ ー	◆地域全体の「合同研修会」を始め、時代に合った課題をとらえ研修会を実施	○芦屋市中学校区青少年健全育成推進会議と芦屋市青少年育成愛護委員会との合同研修会などを通じて、時代に合った課題研修会を開催した。（H27年度、H28年度） ○上記に地域経済振興課を加え、合同で今日的課題の研修会を実施した。（H29年度）	◎	◎	◎
図 書 館	◆(ア) 児童に対するストーリーテリング、絵本の読み聞かせ ◆(イ) 図書館友の会の諸活動 ◆(ウ) 打出分室の運営〔H27年度〕	(ア) 行事に市民ボランティアが参画。スキル向上を目指し、研究会を開催。 (イ) コンサート等イベント (ウ) 分室運営への参画〔H27年度〕	◎	◎	◎

取組項目（イ） 市民参画・協働・まちづくりに関する学習機会を充実します。

具 体 例	・創意をひきだし、実践的なワークショップの実施・展開 ・まちづくりに関わる出前講座の充実・開発 など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
政 策 推 進 課	◆第4次芦屋市総合計画に関する意見交換会の開催	○総合計画の基本構想素案づくりにご協力いただいた47人の前市民会議委員から意見・提案をいただいた。	◎		

政策推進課	◆スポーツフェスタ2017	○総合戦略の取組として、健康意識の向上及び文化施設等の芦屋の魅力発見（発信）につなげるために、市民活動団体等とも連携して、事業を実施した。		◎	
男女共同参画推進課	◆出前講座	○男女共同参画について理解が深められるよう、分かりやすくかつ充実した内容での構成・実施		◎	◎
地域福祉課	◆〔H27年度〕 ①「地域福祉アクションアワード」 ②第5回市民が創る福祉プロジェクト展 ◆〔H28年度〕 ①保健福祉フェア ②第6回市民が創る福祉プロジェクト展 ◆〔H29年度〕 ①保健福祉フェア	〔H27年度〕 ①保健福祉フェアのイベントとして、地域での共助の取組みについて発表と表彰。 ②アクションプログラム協議会で企画、主催「認知症にやさしいわがまち芦屋をめざして！」 〔H28年度〕 ①地域福祉アクションアワードの開催 ②「きて・みて・やってみてin芦屋vol.2」の開催 〔H29年度〕 ①地域福祉アクションアワードの開催		◎	◎
福祉センター	◆保健福祉センター見学（出前講座）	○出前講座として、希望する市民を対象に保健福祉センターを案内		◎	◎
高齢介護課	◆すこやか長寿プラン	○すこやか長寿プランを柱とした高齢者施策・介護保険制度周知のための出前講座での講演		◎	◎
建設総務課	◆地域安全啓発	まちづくり防犯グループ連絡協議会での、外部講師による地域の見守り活動についての講演			◎
生涯学習課	①会下山遺跡 復元高床倉庫のかやぶき屋根ふき替え事業〔H27年度〕 ②美術博物館でのびはくルームやアートマーケット等の実施 ◆美術博物館管理運営事業〔H29年度〕 ◆文化財保護及び活用事業〔H29年度〕	①公募により、市民にかやぶき屋根ふき替え作業のワークショップを行った。〔H27年度〕 ②公募による市民等の参加による各種ワークショップや参加事業を実施〔H27年度、H28年度〕 ○美術博物館等において、文化財や芦屋の歴史に係る、公募による市民等の参加による各種ワークショップや参加事業を実施した。〔H29年度〕		◎	◎
スポーツ推進課	◆あしやスポーツフォーラム	○芦屋市体育協会、芦屋市レクリエーションスポーツ協会、芦屋市スポーツ推進委員会、スポーツクラブ21芦屋市連絡協議会等を交えての情報交換			◎
青少年愛護センター	◆愛護班集会を通じて、小学校区ごとに地域に出かけ課題の把握と解決に向けて取り組んだ。	○毎月、各小学校区の愛護班集会に出席し、情報共有と課題の解決に取り組んだ。		◎	◎
評価コメント 基本目標：1 施策目標：(2) 取組項目：(ア) - (イ)		●出前講座のほか、各課でセミナーやイベントなどが実施されており、多様な参加機会が確保されている。 ●引き続きより多くの参加できる機会を確保していくとともに、特に若い世代がまちづくりに参加するきっかけとなるような取組を行なっていく必要がある。			

施策目標（3）未来のまちづくり人を育てる

取組項目（ア） 学校教育において、市民参画・協働やまちづくりへの関心を高めます。

具 体 例	・小中学生向け市民参画・協働事例集の製作など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
高齢介護課	<ul style="list-style-type: none"> ◆老人クラブ活動〔H27年度、H28年度〕 ◆生きがい・社会参加等在宅支援事業〔H29年度〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○老人クラブと中学生との交流〔H27年度、H28年度〕 ○Y.O.倶楽部が小学校の生活科「昔の遊びを体験する授業」を協働で行った。〔H29年度〕 	◎	◎	◎

取組項目（イ） 子どもたちの地域活動への参加・体験学習を支援します。

具 体 例	<ul style="list-style-type: none"> ・親子での市民活動・地域活動（コミュニティ・スクールなど）への参加促進 ・夏休み期間中における子ども向けまちづくり講座の開催 ・「トライやるウィーク」の地域活動への受け入れなど 				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
男女共同参画推進課	◆市民企画講座の開催を支援	<ul style="list-style-type: none"> ○イクメン講座や絵本で子育て講座等、親子で参加でき、また開催が土曜日である等参加のしやすさに配慮をした講座を企画した団体の活動を支援〔H27年度〕 ○親子で参加でき、また開催が土曜日である等参加のしやすさに配慮をした講座を企画した団体の活動を支援〔H28年度、H29年度〕 	◎	◎	◎
地域福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ①トライやるウィークの地域活動への受け入れ ②夏休み福祉ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ①赤ちゃん応援ネット事業を体験してもらう。具体的には、赤ちゃんへのスタイ作成及び児童委員とともに新生児宅を訪問し、スタイを手渡しで届ける。 ②老人ホームでの傾聴、ボランティア体験 	◎	◎	◎
高齢介護課	◆生きがい・社会参加等在宅支援事業	○シルバー人材センターが保育所へのボランティアとして、子どもたちへ伝承遊びの指導を行った。	◎	◎	◎
公園緑地課	◆芦屋市公園まもり隊	○公園の改修工事に伴って、地域の子ども達を中心にコンクリート遊具の塗装補修を行った。		◎	
芦屋病院総務課	◆トライやるウィークの受け入れ	○中学生を対象に、手術見学や薬剤の梱包体験、病院ボランティアの作業補助など「病院で働くこと」を幅広く体験してもらう。	◎	◎	◎
学校教育課	◆トライやる・ウィーク	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の興味関心をもとに、地域や学校の実態に応じて以下の活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験活動：地域のいろいろな職場での体験活動 ・文化・芸術創作体験活動：絵画や音楽等の活動、地域・郷土芸能活動 ・ボランティア・福祉体験活動：地域でのボランティア活動、福祉施設等での活動 このような体験活動を通じて、地域に学び、共に生きる心や感謝の心を育み、自律性を高めるなど、「生きる力」の育成を図っていくことを目指す。 	◎	◎	◎
生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校園・家庭・地域の教育推進支援事業 ② 文化財保護及び活用事業 ③ 美術博物館管理運営事業 ④ 谷崎潤一郎記念館管理運営事業 	①コミュニティ・スクール活動への支援をした。 ②③④文化財係、美術博物館、谷崎潤一郎記念館において、「トライやるウィーク」の受け入れを行った。	◎	◎	◎

青少年育成課	◆あしやキッズスクエア	○小学生が地域の方々の見守りを受け、学校内での自主的な遊びを行う居場所を提供し、様々なスポーツや文化等のプログラムを体験できる事業	◎	◎	◎
青少年愛護センター	◆「子どもと語る会」	○青少年愛護協会の事業「子どもと語る会」の実施をサポートした。 [H27年度：小学生49人，愛護協会員及び引率者23人] [H28年度：小学生64人，愛護協会員及び引率者34人] [H29年度9月1日 小学生25人，育成愛護委員・教師29人]	◎	◎	◎
評価コメント 基本目標：1 施策目標：(3) 取組項目：(ア) - (イ)		●各課において子どもたちと交流する取組が実施されている。今後の人口減少社会を見据え、若い世代の方がまちづくりに関して、関心を高められるような取組が重要であり、より多様な取組を積極的に行っていく必要がある。			

施策目標（４）「人そだち」を支える

取組項目（ア） 将来の地域を支える人材を地域とともに発掘し、地域とともに「人そだち」を支えます。

具 体 例	・市民活動・地域活動に関する啓発の充実 ・気軽な参加機会の提供によるボランティアのすそ野の拡大 ・講座やセミナー（地域のボランティアコーディネーター養成講座等）などの機会をとらえた地域人材の発掘 ・役員の負担を分散し、若い世代へ機能を継承するための、自治会等の運営体制検討支援 など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
男女共同参画推進課	◆講座等の企画・実施	○幅広い世代に向けて講座を企画・実施することで、社会参加や自己啓発を支援、また地域交流に繋がる機会をつくり、交流を支援	◎	◎	◎
地域経済振興課	◆消費生活サポーター養成事業	○・身近な地域の消費生活トラブル防止を目的に、全9回（6日）の養成講座を実施。 ・11名が受講，登録。			◎
障害福祉課	◆手話奉仕員養成研修事業	○手話で日常生活を行うのに必要な手話語彙及び手話表現技術を習得した者を養成する。	◎	◎	◎
高齢介護課	◆生きがい・社会参加等在宅支援事業	○老人クラブにおいて若手リーダー研修会を実施し、若手人材の育成を行った。	◎	◎	◎
防災安全課	◆防災総合訓練及び地域の防災・減災事業	○地域における防災リーダーを育成するため、防災士の資格取得にかかる受講料や登録料等を補助し、資格取得を支援することで、地域の防災力向上を図る。	◎	◎	◎
住宅課	◆マンション管理セミナーの実施	○マンション管理に関する知識・認識の啓発	◎	◎	◎
生涯学習課	◆文化財保護及び活用事業	○文化財ボランティア養成講座等を実施した	◎	◎	◎
青少年育成課	◆成人式	○新成人の門出を祝い、次代を担う社会人としての自覚を啓発する場とすることを目的とする。新成人の企画チームによる企画、運営により実施	◎	◎	◎
青少年愛護センター	◆愛護協会活動を通じて、子どもの視線で地域や学校、家庭での生活を考える。	○愛護協会活動を通じて、「子どもと語る会」を開催し、子どもの視線で地域や学校、家庭での生活を考える。新しく入会された保護者と共に、地域のことを「見て」歩き、「知る」ことで、地域が「分かる」活動を実施した。[H27年度，H28年度] ○青少年愛護協会の事業「子どもと語る会」の記録を冊子にまとめたものを各地域ごとの課題や世代間の認識を理解し、共有した。[H29年度]	◎	◎	◎

取組項目 (イ) 地域活動の活性化に向けて、人や情報などを結び合わせる役割を充実します。					
具 体 例	・人・団体・市の間をつなぐ地域のボランティアコーディネーター養成 ・地域リーダー講座の開催 など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
地域福祉課	◆芦屋市地域発信型ネットワーク	○小学校区内ごとの「小地域福祉ブロック会議」及び中学校区ごとの「中学校区福祉ネットワーク会議」の開催	◎	◎	◎
住 宅 課	◆マンションネットワーク会議の実施	○マンション管理問題解決の為のネットワーク拡大	◎	◎	◎
生涯学習課	◆生涯学習推進事業	○社会教育関係登録団体を対象とした研修会（情報交換会）の実施 [H27年度, H28年度] ・社会教育関係登録団体を対象とした説明会を実施し、活動支援を行った。 [H29年度] ・社会教育活動を通じて学んだことを市民が講師や指導者となって講座を行う、あしや学びあいセミナー（市民版出前講座）を実施した。 [H29年度]	◎	◎	◎
青少年愛護センター	◆世代を越えて、新しい保護者と地域をよく知る世代との交流を図り、次世代につなぐ	○青少年育成愛護委員活動の継続性、安定性、一体性を支えているのは、ベテランの委員で構成する青少年育成愛護協会であるので、その協会活動を支援した。	◎	◎	◎
<p>評価コメント</p> <p>基本目標：1 施策目標：(4) 取組項目：(ア) - (イ)</p> <p>●人材育成に向けた講座や研修会が実施されていることに加え、地域の情報収集・共有の会議体が設置されている。今後はより多くの人材確保のため、若い世代の育成に関する取組を工夫していくことが必要。</p>					

基本目標2 <つながる>力を合わせるため連携の機会を充実します					
施策目標 (1) まちづくりのための多様な舞台を充実					
取組項目 (ア) 市民参画・協働へのきっかけを多彩に提供します。					
具 体 例	・勤労者や子育て世代に向けた気軽な参加機会の提供促進（週末まちづくりイベントの開催など） ・身近な地域活動の企画・実施の支援など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
福祉センター	◆あしや保健福祉フェア	○実行委員会形式で保健・福祉関係行政のほか、福祉団体や福祉事業者と協働して、年1回実施。	◎	◎	◎
障害福祉課	◆障がい者とのふれあい市民運動会	○障がいのある人と市民がスポーツを通じて交流を深めるため運動会を開催する。	◎	◎	◎
道 路 課	◆道路の改良事業	○無電柱化シンポジウム			◎
青少年愛護センター	◆連携イベントの開催による市民参加 [H27年度] ◆中学校健全育成事業を通じて小中交流事業の充実を図る [H28年度, H29年度]	○地域・学校との連携強化により、青少年を持つ保護者との情報共有を図り問題を一元化して整理した。 [H27年度] ○精道・山手・潮見の中学校区で多彩な小中交流事業を実施。小学校の運動会に中学校吹奏楽部が出演し、地域住民も参加して楽しんだ。 [H28年度] ○中学校区青少年健全育成推進会議を精道・山手・潮見の中学校区で行い、研修会やイベントなどの事業を実施した。 [H29年度]	◎	◎	◎

取組項目（イ） 地域が課題を解決する力を高めるよう支援します。

具 体 例	・地域ひろば、市民ひろばの計画的で継続的な展開 など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
地 域 経 済 振 興 課	◆消費生活トラブルの未然防止	○青少年愛護委員会班集会で、子どもに関する消費生活トラブルを紹介		○	○
地 域 福 祉 課	◆芦屋市地域発信型ネットワーク	小学校区内ごとの「小地域福祉ブロック会議」及び中学校区ごとの「中学校区福祉ネットワーク会議」の開催	○	○	○
青 少 年 愛 護 セ ン タ ー	◆地域力の支援	○身近な課題を整理し、市民感覚による道路環境の改善などを積極的に行った。〔H27年度、H28年度〕 ○青少年育成愛護委員が小学校区ごとに開く班集會に毎月出席し、情報交換を行い、必要に応じて行政内部や関係機関に働きかけて課題解決に努めた。〔H29年度〕	○	○	○

評価コメント
 (基本目標：2
 施策目標：(1)
 取組項目：(ア) - (イ))

●市民が地域の課題を解決する力を高めるには、あらゆる施策の中で市民参画・協働のきっかけとなる活動の場をより多く提供し、市民の主体的な活動を支援していくことが重要と考える。また、取り入れ方に関しては今後、一層の検討が必要

施策目標（2）みんなが分かり合い、つながり合う

取組項目（ア） 市民（市民活動団体、事業者など）相互の連携機会を充実します。

具 体 例	・地域防災など多くの人が身近と感じる問題をテーマにした総合的な交流会の開催 など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
男 女 共 同 参 画 推 進 課	◆男女共同参画センター登録グループの交流支援	○登録グループ間で交流・情報交換等しやすいよう調整・支援	○	○	○
地 域 福 祉 課	◆保健福祉フェア	○地域福祉アクションアワードの開催	○	○	○
建 設 総 務 課	◆地域防犯推進	○地域の安全のために活動されている方々に意見交換の場を提供（まちづくり防犯グループ連絡協議会、地域安全まちづくり推進委員交流会、生活安全推進連絡会）	○	○	○
防 災 安 全 課	◆防災総合訓練及び地域の防災・減災事業	○地域における防災活動を推進するため、自主防災訓練等を通じて防災に関する啓発を行い、市民の交流を支援する。	○	○	○
学 校 教 育 課	◆防災・安全教育推進事業	○通学路合同点検 定期的に小学校区の通学路の安全点検を行う。保護者、自治会、まちづくり防犯グループと行政関係者・警察と一緒に校区内を歩いて点検し、改善を進める	○	○	○
生 涯 学 習 課	◆生涯学習推進事業	○社会教育関係登録団体を対象とした説明会を実施し、活動支援を行った。 ○社会教育活動を通じて学んだことを市民が講師や指導者となって講座を行う、あしや学びあいセミナー（市民版出前講座）を実施した。〔H29年度〕	○	○	○
青 少 年 愛 護 セ ン タ ー	◆「通学路点検」や「環境浄化活動」を通して、子どもの安全を地域の人々と実施〔H27年度〕 ◆班集會を通じて、小学校区ごとに地域に出かけ課題の把握と解決にむけて取り組む。〔H28年度、H29年度〕	○山手地区の「通学路点検」を実施、中学生の事故を契機に車道にラインを引くなど事故防止に務めた。各地区において子どもの安全活動を実施〔H27年度〕 ○青少年育成愛護委員が小学校区ごとに開く班集會に毎月出席し、情報交換を行い、必要に応じて行政内部や関係機関に働きかけて課題解決に努めた。〔H28年度、H29年度〕	○	○	○

取組項目（イ） 自治会とNPOなど市民活動団体の交流・連携の機会を充実します。

具 体 例	・NPO等の専門性を地域課題の解決にいかすためのマッチング機会の提供 など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
人権推進課	◆平和施策	○戦争を体験した方が年々減少していく中で、平和に関する絵本の展示や絵本の読み聞かせを通して、戦争を知らない世代や若い世代に平和の大切を伝える。			○
青少年愛護センター	◆夜間パトロールの実施	○青少年育成愛護委員が地域の自治会と協力し、夜間パトロールを実施した。	○	○	○

取組項目（ウ） 市民と市との情報交流，連携の機会を充実します。

具 体 例	・市民と市が協働して開催するまちづくり懇談会（市民と市長の懇談会）の充実支援 など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
政策推進課	①1.17あしやフェニックス基金事業 ②政策の企画及び総合調整に関する事務	①フェニックス基金助成金を活用した阪神・淡路大震災の記憶風化防止等に関する市民団体等への活動助成 ②集会所トークでの意見交換	○	○	○
保健課	◆国民健康保険事業 ◆後期高齢者医療事業	○出前講座の実施	○	○	
道路課	◆道路の改良事業	○芦屋市無電柱化推進計画策定委員会			○
青少年愛護センター	◆中学校校区健全育成推進会議と芦屋市青少年育成愛護委員会との「合同研修会」〔H27年度〕 ◆通学路点検〔H28年度、H29年度〕	○中学校校区健全育成推進会議と芦屋市青少年育成愛護委員会との「合同研修会」〔H27年度〕 ○行政・学校・警察・青少年育成愛護委員が協力し、通学路の安全点検を実施した。〔H28年度、H29年度〕	○	○	○

評価コメント
 基本目標：2
 施策目標：(2)
 取組項目：(ア) - (ウ)
 ●福祉や防災，防犯の取組を中心に，様々な方が連携する機会を創出している。これらの取組を継続する一方で，協働でまちづくりを進めるため，より多くの施策において連携する機会や場を提供する必要がある。

施策目標（3）市民の意欲と力を活かす

取組項目（ア） 市民の創意と意欲を市民参画協働で活かす仕組みを検討します。

具 体 例	・市民の発意による自主的なまちづくり事業に対する支援施策の検討 など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
男女共同参画推進課	◆市民企画講座の開催を支援	○市民グループが企画した講座事業に対し助成を行うことで，市民の意欲を活かし，スキルアップを促進	○	○	○
地域福祉課	◆地域福祉活動推進事業	○地域福祉アクションプログラム推進協議会を毎月1回のペースで開催し，市民の発意によるプロジェクトの進捗状況を確認した。			○
建設総務課	◆地域防犯活動支援	○地域防犯推進事業補助金		○	○
青少年愛護センター	◆地域事業に愛護委員が参加する	○コミスク事業など域事業に積極的に参加し，子どもが楽しめる環境を提供した。	○	○	

評価コメント
 基本目標：2
 施策目標：(3)
 取組項目：(ア)
 ●福祉や防災，防犯の取組を中心に，様々な方が連携する機会を創出している。これらの取組を継続する一方で，協働でまちづくりを進めるため，より多くの施策において連携する機会や場を提供する必要がある。

基本目標3 <すすむ> 市民活動を高めるための環境を整備します

施策目標(1) 市民参画・協働への道をひろげる

取組項目(ア) 市民参画・協働への理解と関心を高め、浸透を促します。

具 体 例	・市民参画・協働に関する講座やセミナー等の定期的な開催 など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
地域福祉課	◆地域福祉活動推進事業	○第8回あしや保健福祉フェアにおいて、地域福祉アクションアワードvol.3を開催し、優れた地域活動を行っている4団体に活動を紹介していただき、各団体への表彰を行った。			◎
高齢介護課	◆すこやか長寿プランの推進	○出前講座での講演	◎	◎	◎
建築指導課	◆耐震改修促進事業	○耐震化セミナーを実施した。	◎	◎	◎
青少年愛護センター	◆啓発活動の継続	○同じ課題を深くとらえ、繰り返し啓発する。 ○機会をとらえ、啓発活動を行った。	◎	◎	◎

評価コメント	●学びの場を提供する取組などとの統合も含め、人材育成の施策と連動した実施を検討する必要あり。
基本目標：3 施策目標：(1) 取組項目：(ア)	

施策目標(2) 活動の自立を支える

取組項目(ア) 市民活動などに関する助成制度などの情報を積極的に提供します。

実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
高齢介護課	◆生きがい・社会参加等在宅支援事業	○生きがい通所支援事業の周知〔H27年度・H28年度〕 ○ゆうゆう倶楽部の周知〔H29年度〕	◎	◎	◎
建設総務課	◆地域防犯活動支援	○地域防犯推進事業補助金の支給			◎
建築指導課	◆耐震改修促進事業	○広報により助成制度の情報を提供した。		◎	◎

取組項目(イ) 持続的な活動継続の仕組みづくりを支援します。

具 体 例	・ソーシャルビジネス(SB)、コミュニティビジネス(CB)の促進 など				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
地域福祉課	◆芦屋市介護予防・通いの場づくり事業	○地域の通いの場づくりを行う団体等への補助			◎
青少年愛護センター	◆街頭巡視活動〔H27年度、H28年度〕 ◆世代を越えて、新しい保護者と地域をよく知る世代との交流を図り、次世代につなぐ〔H29年度〕	○愛護委員による登下校の子どもの見守り活動を継続して貢献した。〔H27年度、H28年度〕 ○青少年育成愛護委員活動の継続性、安定性、一体性を支えているのは、ベテランの委員で構成する青少年育成愛護協会であるので、その協会活動を支援した。〔H29年度〕	◎	◎	◎

評価コメント	●自走する活動を促進するためにも、活動に必要な財源の獲得や収入対策について、専門的な知識を学べる機会を創出するとともに、クラウドファンディングの有効活用など、多様な情報提供を行っていくことが必要。
基本目標：3 施策目標：(2) 取組項目：(ア)-(イ)	

施策目標（3）ネットワークづくりと活動の場づくりを支える

取組項目（ア） あしや市民活動センター（リードあしや）の機能を充実します。

具 体 例	<ul style="list-style-type: none"> ・交流促進・情報提供・助言指導・相談各機能の強化 ・学習機会の充実 ・利用者の利便性の向上 など 				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
市民参画課	◆あしや市民活動センター管理運営事業	○あしや市民活動センターの指定管理者が、中間支援として市内の団体支援や相談事業を実施	◎	◎	◎

取組項目（イ） 身近な活動の場を充実します。

具 体 例	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや高齢者に向けた地域での居場所づくり支援 ・公共施設の活用による場の提供 など 				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
男女共同参画推進課	◆男女共同参画センターのセミナー室や団体交流スペースの整備 ◆ウィザスあしやフェスタ共催によるネットワークづくりの支援	○活動の場の提供と活動情報発信の支援 ○ウィザスあしやフェスタ共催により、市民活動団体や市民相互のネットワークづくりを支援	◎	◎	◎
地域福祉課	◆ひとり一役活動推進事業	○ボランティア活動を行う方を登録し、活動実績に応じて付与したポイントを換金できる事業			◎
高齢介護課	◆生きがい・社会参加等在宅支援事業	○ゆうゆう倶楽部を活用している市民団体と意見交換会を開催し、更なる活用について協議した。	◎	◎	◎
生涯学習課	◆学校園・家庭・地域の教育推進支援事業	○芦屋市放課後プラン（子ども教室型放課後対策）事業として、市内の各小学校区において、放課後や週末等に小学校施設等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点として「子ども教室」を実施した。	◎	◎	◎
青少年愛護センター	◆地域事業等に育成愛護委員が参加する。	○育成愛護委員の毎月の班集会や役員会を通じて、学校・行政や地域事業の情報を提供し、委員の参加を促した。	◎	◎	◎

評価コメント
 基本目標：3
 施策目標：(3)
 取組項目：(ア) - (イ)
 ●他の施策においても活動の場づくりを進めているため、施策の整理統合も含めて精査する必要あり。

基本目標4 <かさえる> 市民参画・協働推進の仕組みを整備します

施策目標（1）職員の市民参画・協働力をパワーアップ

取組項目（ア） 職員が自発的に市民活動・地域活動に取り組む意欲を高めます。

具 体 例	<ul style="list-style-type: none"> ・職員啓発の充実 ・本市の内外での市民活動・地域活動の奨励 など 				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
地域福祉課	◆芦屋GrowUPチャレンジ	○継続して地域に職員が出向く仕組みづくりを目標に、市民とともにイベントに参加したり、まちあるきを実施したりした	◎	◎	◎
高齢介護課	◆すこやか長寿プラン	○すこやか長寿プランの推進のため、出前講座への職員派遣	◎	◎	◎
防災安全課	◆防災総合訓練及び地域の防災・減災事業	○消防防災関係機関・団体が開催する研修会等に参加し、修得した知識・技術を地域における防災活動の取り組みに活用する。	◎	◎	◎
青少年愛護センター	◆地域経済振興課との連携 [H27年度] ◆今気になる課題をとらえる [H28年度]	○インターネットに関する消費者相談を通じて、青少年の課題を解決する [H27年度] ○兵庫県下、阪神間、警察関係の関連情報を積極的にとらえた。 [H28年度]	◎	◎	

取組項目 (イ) 市民参画・協働に積極的に取り組む職員を増やします。					
具 体 例	<ul style="list-style-type: none"> ・各課における(仮称)協働推進リーダーの設置 ・自治会・NPOなどと連携した実践的な職員研修 など 				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
政策推進課	◆芦屋Grow UPチャレンジ	○芦屋青年会議所主催のハロウィンキャンドルナイトに企画段階からの参加			◎
人 事 課	◆市民参画協働推進研修	○(特活)あしやNPOセンターの職員を講師に招き、「協働」についての基本的事項、芦屋市の指針・計画のポイントや協働事業内容について、職員を対象に研修を実施 [H27年度] ○市民参画及び協働についての意識の向上を図るため、「協働」についての基本的事項や協働事業の共有化について、研修を実施 [H28年度、H29年度]	◎	◎	◎
地域福祉課	◆芦屋GrowUPチャレンジ	○各課から若手職員をリーダーとして選出し、若手職員中心で取組を進めた。	◎	◎	◎
青少年愛護センター	◆愛護委員と消費者活動の連携及び人権啓発活動を連携し取り組む [H27年度] ◆実現に向けて課題を整理 [H28年度]	○多様な角度からインターネットに関する課題を整理し、人権啓発等にも結びつけて、青少年の課題を解決する。 [H27年度] ○内外の諸研修に職員を派遣した。 [H28年度]	◎	◎	
評価コメント	●職員が積極的に地域との協働を行うという意識を高めるには、各課の業務において市民が参画できる取組、もしくは市民と協働する取組を積極的に行っていく必要がある。				
基本目標：4 施策目標：(1) 取組項目：(ア) - (イ)					

施策目標 (2) 庁内のつながりを密接に

取組項目 (ア) 全庁的に市民参画・協働の意識高揚と行動を促します。					
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
青少年愛護センター	◆学校との連携を図る [H27年度] ◆いじめ問題連絡協議会への参加 [H28年度、H29年度]	○小中学校のPTAと青少年愛護委員会との連携強化を目的に、全市域で研修活動を実施 [H27年度] ○こどもの課題について、愛護委員として積極的に参加し、問題の解決に向けて取り組んだ。 [H28年度] ○いじめ問題連絡協議会に参加し、情報交換を行なった。 [H29年度]	◎	◎	◎

取組項目 (イ) 庁内の連携体制を充実します。					
具 体 例	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への情報提供のあり方を検討 ・関係課間の調整・連携 など 				
実 施 課	事業内容	具体的施策	H27	H28	H29
政策推進課	◆パブリックコメントの共同募集 (H29年度は市民参画課でとりまとめ)	○パブリックコメントの実施課が共同でポスターやHP等各媒体を使い、パブリックコメントの募集を行った。	◎	◎	◎
地域経済振興課	◆悪質商法等の庁内情報共有と発信の一本化	○市のホームページトップページから消費生活センターに入れることから、悪質商法等の緊急情報を庁内連携及び芦屋警察との相互協力により消費生活センターで一括し掲載した	◎		
高齢介護課	◆高齢者の生活支援全般 [H27年度、H28年度] ◆生きがい・社会参加等在宅支援事業 [H29年度]	○may-beシートの活用 [H27年度、H28年度] ○消費生活センターと連携し、高齢者団体等への悪質商法等への対策について啓発を行った。 [H29年度]	◎	◎	◎
健康課	①母子保健事業と関係部署との連携 ②健康増進事業と保険課との連携	①こんにちは赤ちゃん訪問・ブックスタート事業・5歳児発達相談事業の実施 ①電子母子健康手帳と子育てタウンアプリの活用方法の検討等、子育てに関する広報媒体の役割分担を整理 ②特定健診・特定保健指導・がん検診等での連携	◎	◎	◎
道路課	◆道路の管理に関すること	○道路占用者会議の開催	◎	◎	◎

	<p>生涯学習課</p> <p>◆美術博物館管理運営事業 ◆谷崎潤一郎記念館管理運営事業</p>	<p>○指定管理者との連絡調整会議を定期的を実施し、相互の課題や情報共有を行った。 ○文化ゾーンでのイベント実施に向け3館での担当で会議・情報共有を行った。</p>	◎	◎	◎
	<p>青少年愛護センター</p> <p>◆子育て推進課，学校教育課との連携</p>	<p>○子育て推進課，学校教育課との連携し，情報交換を行なった。</p>	◎	◎	◎
<p>評価コメント 基本目標：4 施策目標：(2) 取組項目：(ア) - (イ)</p> <p>●社会課題が複雑化・多様化する中で、当該施策のみならず、他の施策も含めると各課の連携が進んでいる状況が窺える。今後も市内の連携を深め、各種の課題に対応していくことが重要である。</p>					
<p>施策目標（3）市民参画・協働の効果を高める</p>					
<p>取組項目（ア）一貫した市民参画・協働の仕組みを構築します。</p>					
<p>具 体 例 ・提案－計画－準備－実施－評価など施策の総合化 など</p>					
<p>実 施 課 事業内容 具体的施策 H27 H28 H29</p>					
<p>住 宅 課 ◆芦屋市住宅マスタープラン策定 ○継続して地域に職員が出向く仕組みづくりを目標に、市民とともにイベントに参加したり、まちあるきを実施したりした。</p>					
<p>高 齢 介 護 課 ◆すこやか長寿プランの推進 ○市民も参画した計画の策定</p>					
<p>青 少 年 愛 護 セ ン タ ー ◆市民と一体になる活動を推進する ○広域補導（パトロール）活動を三市（尼崎・西宮・芦屋市）で実施した。</p>					
<p>取組項目（イ）成果目標を設定し、推進計画の進捗状況を定期的に点検し、評価します。</p>					
<p>具 体 例 ・PDCAの徹底と、特にC（評価・点検）の中でうまくいかなかった事例の前向きな分析・検討の重視 など</p>					
<p>実 施 課 事業内容 具体的施策 H27 H28 H29</p>					
<p>高 齢 介 護 課 ◆すこやか長寿プランの推進 ○年2回の評価委員会での進捗管理</p>					
<p>水 道 管 理 課 ◆平成27年度の決算状況を中心に、芦屋市水道事業状況について説明〔H28年度〕 ◆「芦屋市水道ビジョン」の見直し〔H29年度〕 ◆「芦屋市水道事業経営戦略」策定〔H29年度〕 ○平成28年度 芦屋市水道事業状況説明会の開催〔H28年度〕 ○芦屋市水道事業経営審議会を開催し、本市水道事業の目標、経営理念である「芦屋市水道ビジョン」の見直しを行った。さらに今後10年間の経営計画である「芦屋市水道事業経営戦略」を策定した。〔H29年度〕</p>					
<p>評価コメント 基本目標：4 施策目標：(3) 取組項目：(ア) - (イ)</p> <p>●市民参画・協働を各種の計画でも推進するためには計画の進行管理を適切に行っていく必要があり、より効果的な実施につなげるための進行管理手法を検討する必要がある。</p>					

<p>中間まとめ 総 括</p>	<p>【施策に対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施策ごとに重複しているところが散見されるため、次期計画では施策の統廃合を検討することが重要。 ● また、市民参画と市民協働の提議に関して、「市民参画及び協働の推進に関する条例」で定めがあるものの、計画の施策においてはその区別が明確ではないため、参画・協働それぞれの取組に対する方向性が不明瞭な部分がある。 <p>【取組に対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全体的には市民参画・協働の取組がかなり浸透していることが窺える。 ● 今後は、社会環境の変化に伴い、若い世代の参画と協働をどのように図っていくかが重要であり、その推進には、これまでの取組に「参加しなくなる」要素を取り入れることで、より多くの人材を発掘していく必要がある。
----------------------	--